



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2007 - 2008 年度 RI 会長 ウィルフッドJ.ウィルキンソン
魚津 R.C 会長 谷川 文紹

2008年 2月 1日

第 261 回 例会報告

ゲスト並びにビジター

大城 宗文 君 (魚津西 R・C)

誕生祝



吉森 勝代 君 2月 7日

本日は誕生祝ありがとうございました。1953 年生まれですので 55 歳になります。以前には特段考えていませんでしたが、近年、今日の私が在ることと私を生んでくれたことに対して両親と、この場に出席させてくれている夫に対して感謝の気持ちを持っております。今後もよろしくお願ひします。

会長挨拶

2月、如月に入り、衣に着ると書いても「キサラギ」と呼ぶような寒い季節となりました。まもなく節分・立春となりこの寒さもピークとなります。今月は国際奉仕世界理解月間です。当クラブと友好提携している釜山釜一クラブとの過去からのいきさつなど後程国際奉仕委員長から説明がありますので、新しい会員の皆様もよくご理解下さい。

健康講座としてデトックス(体内に溜まった毒素を排出させる健康法「(体内から毒素や老廃物)取り除く」「解毒」の短縮形)について話します。前回は鼻水を含め水分が体外に出てくる良いことだと話しましたが、鼻血も体外に出ることは体内で出血することよりは良いことであり、その鼻血によって種々の症状を発見することができます。前回に続き再度申し上げますが体はアルコール分やニコチンといった毒素を好む傾向があります。特にニコチンは体重 1 kg について 1 mg が致死量と言われており十分に注意願ひします。では何故タバコを吸う人は死なないのか、それは人体機能として毒素を体外放出するといった抗体機能があるからである。

これからの寒さ対策として「頭寒足熱」に留意した“シルク+ウール”の靴下や、20~30 分の「半身浴」などによってこの寒さに立ち向かってください。

幹事報告

黒部 R・C 2 月度例会案内受領

例会終了後に理事会を行います。

出席報告

出席者 32 名 出席率 84.21% 2615 回出席率 72.22% 80.55% に修正

ニコBOX

辻 浩 君 魚津西 R・C との合同例会に欠席したことのお詫びで。

委員会報告

ロータリー情報委員会 2月5日に会費は3000円で委員会を行う、私は“1人でも世界を変えることが出来ると信じております”19名の出席予定で楽しく行います。

雑誌委員会 「ロータリーン友」2月号内容の概要説明

卓話

国際奉仕世界理解月間卓話 山澤 正和 君



今月は会員も理解されていると思いますが国際奉仕世界理解月間です。過去にも当クラブとしてその趣旨に基づいて交換学生の受入れや派遣を行ったり、後進国への支援などを行ってきましたが私の国際奉仕に対する考え方は“自分の職業を通じて世界奉仕への協力が最重要なことである”ことと“援助を必要としている国々や人々を支援することである”と考えている。

何例かの実施した事例やトラブルの内容などはありましたが、実績を積み上げてきました。このような状況であることをその後に入会された会員の理解してください。

次に、今後の釜山釜一クラブと友好提携していることについての“その経緯や実績”について説明する。1995年4月25日に釜山釜一クラブと友好提携を当時会長の朝野君によって調印を行った。当時、会員数69名、平均年齢58.30歳、年度事業費23,500,000円、釜山釜一クラブ予算1,600,000円でした。2007年7月現在会員数35名、平均年齢61.19歳、年度事業費11,000,000円、釜山釜一クラブ予算950,000円である。釜山釜一クラブ予算が年度事業費に占める割合が1995年は6.8%現在は7.7%である。このように当時と現在の状況の変化があります。

そこで過去に榊田パストガバナーが「10年を振り返ってみて一度見直すべきである」との提案もあり、今回説明を行うのは会員数の半減・シニア・アクティブ会員が占める全会員数に対する割合の逆転・日本と韓国の経済状況の逆転・当クラブと釜山釜一クラブ会員数のずれなどで友好提携の



意義に対する情熱の半減など、その“価値観のずれ”について会員に問いかけたいと思います。会員のロータリアンとしての社会奉仕への価値観は同じであるがこの“価値観のずれ”を危惧するものである。

そこで今後の釜山釜一クラブと友好提携に対する考え方を再考すべきときであると考えています。13年を振替って決して後ろ向きの考えでないことはご理解願ひ、提案をさせていただきます。